

K 世界史問題

注 意

- 1 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
- 2 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- 3 この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
- 4 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
- 5 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
- 6 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
- 7 この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

- 1 マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
- 2 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
- 3 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文1～5を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 紀元前3000年ころのメソポタミアではシュメール人がいくつもの都市国家を建て、神権政治がおこなわれていた。前24世紀なかばころには（イ）人がこれらの都市国家を征服した。その後、シュメールの都市国家が独立を回復してウル第3王朝などの繁栄がみられたが、やがて前19世紀ころにはアムル人がバビロンを都としてバビロン第1王朝を建て、ハンムラビ王のときにメソポタミア全土を支配した。ハンムラビ王は、シュメール以来の各地の法慣習を集大成してハンムラビ法典を¹⁾発布した。各地の法慣習を法典化することには、王の権威を支配地域に示すという意味があった。この法典を刻んだ石碑が20世紀初頭に、アケメネス朝の首都であったくあ>で発見された。
2. ローマ最古の成文法といわれる十二表法が公開されたのは前5世紀なかばである。当時のローマでは、政治は貴族が主導し、平民とは大きな身分差があった。しかも法的知識・法解釈は貴族に独占されていたので、平民の不満は大きかった。したがって十二表法の公開は、不平等是正を求める身分闘争の一成果であった。平民の多くはくい>として戦争に重要な役割をはたしていたので、自らの政治的権利の拡張を求めているのである。同じころ、ギリシアではアテネ民主政が完成された。ペルシア戦争では、アテネのくい>軍がマラトンの戦いでアケメネス朝の遠征軍を破った。その後、海戦でもアテネを中心としたギリシア連合軍が勝利した。軍船の漕ぎ手として参戦した無産市民の政治的発言力が高まり、アテネでは市民間の政治的平等が徹底した。ローマではその後、前287年、平民会の議決が国法となることを定めたくう>法が制定された。
3. 古来中国には、土地と民は王のものという「王土王民」の思想があり、魏晋南北朝時代の各王朝がその実現を目指した。くえ>の建てた晋は、占田・課田法や、家ごとに生産物で税を取るくお>を実施した。北魏の孝文帝は均田制を実施し、戸籍を整備して（ロ）を施行した。こうした施策には土地と人口の把握が重要であった。隋の文帝は北朝以来の均田制と府兵制を継承し、律令を制定した。また租庸調の税制を確立して財政の安定をはかった。唐も隋の税制を受け継いだが、（ハ）に玄宗が即位したころには荘園の成長などで租庸調の維持が困難となり、安史の乱後には両税法にかわった。「王土王民」思想の現実的基礎は豪族の伸長と荘園の拡大によって失われた。
4. 北アメリカ東部のイギリス植民地は1730年代には13となった。それぞれの植民地は独

2)

自の設立の経緯や内部事情を有していたが、七年戦争後に本国が課税と統治を強化したことから、植民地側は一致して1774年にはく か >を開き本国に抗議し、翌年には独立戦争が始まった。1776年にフィラデルフィアで独立宣言が発表されたが、のちに制定された憲法にもとづく連邦政府の成立はく き >年であった。この間、ヨーロッパ諸国の武装中立同盟の成立、フランス・スペインの対英参戦があり、1781年の(ニ)³⁾の戦いで敗北したイギリスは1783年のパリ条約でアメリカの独立を承認した。

5. 第二次世界大戦後、さまざまな国際協力の組織が形成された。合衆国のマーシャル＝プランの受け皿として、1948年にく く >が結成されたが、これに対抗するソ連陣営は1949年に経済相互援助会議 (COMECON)を組織して経済協力をはかった。西ヨーロッパ諸国の経済協力を進めるため設立されたヨーロッパ石炭鉄鋼共同体は、ローマ条約にもとづきヨーロッパ経済共同体へと発展し、関税引き下げや共同の農業政策、資本自由化などを実施した。さらに1967年、政治面も視野に入れた統合をめざすヨーロッパ共同体 (EC) が成立した。1973年にはこれにイギリス、アイルランド、く け >が加盟して拡大ECとなり、西ヨーロッパの経済統合は進展した。その後、独裁体制や軍事政権から民主制となったギリシア、スペイン、ポルトガルが1980年代に加盟した。マーストリヒト条約にもとづいて1993年にECはヨーロッパ連合 (EU) となり、ヨーロッパ単一市場が形成された。通貨統合も実現し、2002年からは一部の国をのぞいて統一通貨ユーロの紙幣・硬貨が用いられている。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

(イ) a. アッカド b. カッシート c. ヒッタイト d. ミタンニ

(ロ) a. 郡国制 b. 三長制 c. 屯田制 d. 良賤制

(ハ) a. 7世紀末 b. 8世紀はじめ c. 8世紀なかば d. 8世紀末

(ニ) a. コンコード b. サラトガ c. ヨークタウン d. レキシントン

B. 文中の空所<あ>～<け>それぞれにあてはまる適当な語句または数字をしるせ。

C. 文中の下線部1)～5)にそれぞれ対応する次の問1～5に答えよ。

1. この内容に関する記述として正しくないものを、次の a～d から1つ選び、その記

号をマークせよ。

- a. 婚姻や商業関係の規定など，現在の民法や商法など広い分野の内容を含んだ
 - b. 父とその子は，刑法上対等な関係ではなかった
 - c. 被害者が奴隷の場合と自由人の場合とでは刑罰に違いがあった
 - d. 復讐法の原則によって被害者自らに直接復讐する権利が与えられた
2. イギリス植民地を設立の古い順に並べるとき，次の①～③それぞれにあてはまるものを，下記の a～c から1つずつ選び，その記号をマークせよ。
- ① → メリーランド → ② → ペンシルヴェニア → ③
- a. ヴァージニア b. ジョージア c. ニューヨーク
3. これを提唱した国を，次の a～d から1つ選び，その記号をマークせよ。
- a. オランダ b. スウェーデン c. プロイセン d. ロシア
4. この組織に加盟しなかった国を，次の a～d から1つ選び，その記号をマークせよ。
- a. チェコスロヴァキア b. ハンガリー c. ユーゴスラヴィア d. ルーマニア
5. 次の国①～③それぞれの説明として正しいものを，下記の a～c から1つずつ選びその記号をマークせよ。
- ①. ギリシア ②. スペイン ③. ポルトガル
- a. 軍事政権の崩壊後，国民投票で君主制から共和制に移行した
 - b. 植民地問題でいきづまった政権を軍部が打倒し，その後に民政移管となった
 - c. 独裁者の死亡後に民主的君主制に移行した

II. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

宗教から生まれてきた考え方や思想は、国や社会をまとめ、王権に正統性を与えるような思想をつむぎだす一方で、文学や美術などの諸芸術も生み出してきた。

紀元前3000年ころのエジプトでは、上下エジプトを統一する王国¹⁾が成立した。エジプト人は来世を信じ、「死者の書」とともに死者を埋葬した。多神教が主流であったが、新王国時代には、第18王朝の王（イ）が唯一神を信仰する改革を行い、この改革から伝統にとられないアマルナ美術が発達する。しかし、王の存命中から神官勢力の反撃に会い、その死後、多神教が復活した。

多神教が主流であった古代オリエント世界で一神教を強く信じたのは、ヘブライ人だった。ヘブライ人の王国が南北ふたつに分裂した後、新バビロニア王国最盛期の王（ロ）³⁾がユダ王国を滅ぼし、多くのヘブライ人が強制移住を強いられた。こうした受難の歴史を経て、ユダヤ教⁴⁾が確立された。

前6世紀なかばころに起こったアケメネス朝で信仰されたくあ⁵⁾教にみられる最後の審判や天国の観念は、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教といった一神教に影響を与えたと考えられる。ササン朝⁶⁾は諸民族の宗教に対しては当初は寛容であったため、その領内ではくあ⁶⁾教に仏教、キリスト教などを取り入れたくい⁷⁾教が生まれた。しかし後に弾圧され、中央アジア、中国、ローマ帝国領などに広まった。

古代ギリシア世界では、人間の姿をした神々が喜怒哀楽をあらわに人間に働きかけると考えられた。経典は存在しなかったが、現世を肯定する神話の物語は文学⁷⁾に大きな影響を与えた。神々はまた人体美を理想化した彫像としても刻まれ、彫刻家⁷⁾が活躍した。

ローマ帝国では4世紀にキリスト教が公認された。見解を異にするキリスト教諸派が教義をめぐって厳しく対立したが、やがて正統教義が確立されていった。使徒の時代から4世紀初めまでを扱った歴史書『くう⁸⁾』で知られる教父エウセビオスは、皇帝位は神の恩寵によって与えられるとした。こうした考え方は、後のビザンツの皇帝教皇主義や、西ヨーロッパの王権神授説の展開につながっていく。

一方、インド世界では、前7世紀ころから城壁で囲まれた都市国家が多数成立すると、新たな宗教や思想⁹⁾が生まれた。その後、インド最初の統一王朝の時代には、最盛期を築いた第3代君主くえ⁹⁾が次第に仏教に帰依するようになるが、バラモン階層の反発を受け、王朝自体も衰退していく。紀元前後になると、あらゆる人々の救済を重視し、菩薩を信仰する大乘仏教⁹⁾がおこり、やがて交易路を通じて中央アジアから東アジアに広まった。

東アジアでは南北朝時代、仏教は中華文明の世界に根をおろしたが、それに先立ち、華

北では、ともに西域のクチャ出身の仏図澄や< お >が仏教の普及につくしていた。唐代には、仏教は一層発展し、仏典の漢訳や教理の研究がすすんだ。一方、道教も帝室の保護のもと発展し、民間には仏教以上に広まった。また西方諸国との交流がさかんになると、西方の諸宗教も伝えられた。たとえば< か >はササン朝ペルシアをへて中国に伝わり、景教とよばれた。長安の大秦寺内に781年に建てられた大秦景教流行中国碑には、景教の教義と布教の事情が記されている。

A. 文中の空所(イ)・(ロ)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

(イ) a. アメンホテプ4世 b. クフ c. サルゴン1世 d. ラメス2世

(ロ) a. カンピュセス2世 b. キュロス2世
c. ソロモン d. ネブカドネザル2世

B. 文中の空所<あ>～<か>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～11)にそれぞれ対応する次の問 1～11に答えよ。

1. この王国の首都を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. ギザ b. テーベ c. メンフィス d. ロゼッタ

2. 「死者の書」の中で、最後の審判を司るのは誰か、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アトン b. アモン c. オシリス d. マルドゥク

3. 前13世紀、ヘブライ人を率いてパレスチナへの脱出を指導した人物の名をしるせ。

4. 前6世紀に起きたこの出来事の名をしるせ。

5. 「選民思想」と「布教」という語を用いて、古代におけるユダヤ教とキリスト教の違いを1行でしるせ。

6. ササン朝ペルシアに関する記述として正しいものはどれか、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 各州にサトラップを置いて全国を統治した

b. 5世紀後半に突厥の侵入を受けた

c. シャープール1世は、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜とした

d. 首都クテシフォンは、ユーフラテス川中流域に位置した

7. 次の古代ギリシアの文芸作品①・②の作者を、下記の a～e からそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークせよ。

①『アガ멤ノン』 ②『神統記』

- a. アISKYロス b. アリストファネス c. エウリピデス
d. ソフォクレス e. ヘシオドス

8. 古代ギリシアの彫刻家を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. アナクレオン b. トウキディデス c. プラクシテレス d. ヘラクレイトス

9. 前7世紀から前4世紀に生じた新たな宗教や思想に関する記述として正しくないものを、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 『ウパニシャッド (奥義書)』が編纂された
b. ヴァルダマーナが五戒の遵守による解脱を説いた
c. 神々への賛歌集『リグ=ヴェーダ』がまとめられた
d. 八正道が説かれた

10. 2世紀ころ、この教理を体系化した人物の名をしるせ。

11. これを大成した北魏の人物の名をしるせ。